

# 記録補助ツール等を活用して適時適切な情報共有を図り、医療の質・患者サービスの向上につなげたい！

## 課題



- 医療従事者が、処置などで手がふさがっている場合、記録の時間が取れないケースもある。そのような場合にも、音声などで記録を残し、検索しやすい形でテキスト化することで、関係者とさまざまな情報を共有し、医療の質・患者サービスの向上や業務の効率化につなげたい。
- 他職種・多人数が関わる医療現場で適時適切に情報共有し、チーム全体でフォローできるような仕組みを構築したい。

## 背景

### 【患者ニーズ等の記録】

- 医療現場では緊急度の高い事項への対応を優先する必要があるため、処置の際など、リアルタイムで記録が困難な場合がある。これらの事項はチーム全体での共有が難しく、対応する優先順位が後回しになってしまう傾向がある。
- また、簡易な事項については、担当者に引き継ぐ際に、口頭では十分に伝わりきらない場合がある。

### 【電子カルテ上の情報】

- 電子カルテ上には様々な情報があるが、必要な情報を得る際に、自分から検索して情報収集しないといけない場面が多い。
- 処置や患者対応中で電子カルテが見られない環境等において、未実施の検査があったらアラート表示する、緊急性がある事案が発生した際にチーム内に一斉通知するといった、プッシュ型で通知するというような仕組みが現状はない。

## 現場からのコメント



複数のプロダクト・サービスを組み合わせても構わないので、現場負担を減らし、医療の質・患者サービスの向上につながる取組を一緒に創造していきたい

## 現場情報

※ 現場への直接のご連絡は行わないでください。

保健医療局・都立病院  
(地方独立行政法人東京都立病院機構  
東京都立多摩北部医療センター)

地域医療機関と連携し、25診療科からなる総合診療力を駆使して、小児から高齢者までの幅広い病態に対応した専門・救急医療を提供